



HDBaseT 延長器

DXW-1-S1

アプリケーションノート Ver.3.0.0

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

Arvanics Corporation

改版履歴

Rev.	変更日	変更内容
1.0.0	2015/08/07	初版
1.1.0	2016/04/20	外観図タテ計を 74.1mm→111.5mm へ変更
2.1.0	2017/03/24	住所変更
3.0.0	2021/3/10	全体見直し

本書について

本書は日本国内向けに安全かつ安定してご使用して頂くためのアプリケーションノートです。
日本国内における使用上の注意や本各製品バージョンにおける非対応項目等を記載しております。

また、本書に記載されていること以外にも想定外の現象が起こる場合があります。
その場合は弊社営業部までお問い合わせください。

目次

1 4K 解像度	4
2 RS-232、IR 伝送	4
3 その他ご使用上の注意	5

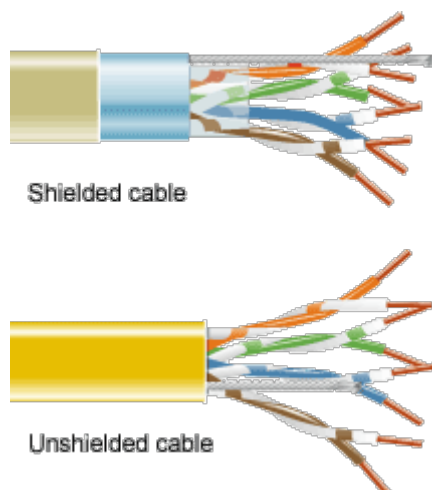
1 4K 解像度

本機は 4K @30 (4:4:4) および 4K@60 (4:2:0) 解像度に対応しています。

4K 映像信号伝送時の最大延長距離は Cat5e / Cat6 ケーブル使用時に最大 35 m までの対応となります。

また、本機は非シールドツイストペア(UTP)およびシールドツイストペア(STP)において正常に動作しますが、UTP ケーブルを用いると、電磁動作(EMI)の影響により、4K 映像出力にノイズが入る場合があります。

このような場合で、ノイズ発生の原因がケーブルにある場合は STP ケーブルを使用することによりこの症状は改善が見込めます。



2 RS-232、IR 伝送

周辺機器の電源を切らずに、本機の電源だけを OFF にしその後 ON (本機だけの再起動)にする、あるいは RS-232C ケーブルを挿抜する使い方はしないでください。

上記のように使用すると、DXW-1 (送信器)と DXE-CAT-RX1 (受信器)の RS-232C ポートへ、数バイトの無効なコマンドを出力します。これにより、コマンドを受信する周辺機器の受信バッファに無効なコマンドがたまり、その後送られてくる最初のコマンドを認識することができなくなる可能性があります。電源が挿入された状態で IR 及び RS-232C のケーブルを挿抜すると故障の原因になる場合があります。

3 その他ご使用上の注意

- 最大伝送距離は解像度、ケーブル性能、および施工状況によって異なります。解像度に応じた伝送距離については本機の仕様書をご確認ください。
- UTP ケーブル内でのワイヤ同士の干渉を減らすため、シールド加工を施した STP ケーブルを用いると、EMI (電磁妨害)の問題が改善されます。EMI (電磁妨害)の問題は、伝送距離が長くなるとより顕著に悪化します。
- HDBaseT 出力 (RJ-45 コネクタ) に HDBaseT 非対応機器を接続しないでください。本機、および接続機器の両方に損傷をきたす恐れがあります
- 周辺機器の電源を切らずに、本機の電源だけを OFF にしその後 ON (本機だけの再起動)にする、あるいは RS-232C ケーブルを挿抜する使い方はしないでください。前述のように使用すると、DXE-CAT-TX1 (送信器)と DXE-CAT-RX1 (受信器)の RS-232C ポートへ、数バイトの無効なコマンドを出力します。これにより、コマンドを受信する周辺機器の受信バッファに無効なコマンドがたまり、その後送られてくる最初のコマンドを認識することができなくなる可能性があります。この無効コマンドにより制御ができない場合は、通信を開始する最初のコマンドの前に、制御に影響のないコマンド(ダミーコマンド)を送ってください。
- 電源が挿入された状態で RS-232C のケーブルを挿抜すると故障の原因になる場合があります。

DXW-1-S1 アプリケーションノート

Ver.3.0.0

発行日：2021年4月8日



株式会社アルバニクス

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL: (046) 259-6920
FAX: (046) 259-6930
E-mail: info@arvanics.com
URL: <http://www.arvanics.com>